

INSTITUTE OF SOCIOLOGICAL RESEARCH DAITO BUNKA UNIVERSITY
大東文化大学社会学研究所所報

No. 4 2023年3月

目 次

所長巻頭言 所長 野嶋 剛	1
2022年度社会学研究所活動報告	2
マンガ・ビジュアル研究会 活動報告	3
自転車とツーリズム・まちづくり研究会	4
研究員の活動報告	5
研究員紹介	13

新体制のなかで

社会学研究所所長 野嶋 剛

社会学研究所は4年目を迎え、初代所長を3年間にわたって務めた中野紀和教授に代わって、私が所長という大任を引き継ぐことになった。研究所は社会学部の発足とともに始まり、今年で4年目を迎える。これまでの3年間の基礎に支えられながら、新しい領域にも挑戦することを模索した一年となった。

これまで研究所内のプロジェクトとしては「マンガ・ビジュアル研究会」(マンビ研)が唯一の存在だったが、6月に「自転車とツーリズム・まちづくり研究会」(自転車研)を立ち上げた。自転車に関する研究は、観光、環境、まちづくり、運動など、社会のあらゆる面に領域を広げることができる。昨今の新型コロナウイルスによる生活方法の変容もあって、自転車の利用者は過去にない伸びを見せており、「自転車と社会」というテーマは非常に有望な学問領域となることが考えられる。幸い、社会学部内に、私も含めて複数のサイクリストがいたことから研究会の発足を働きかけ、結果として九人の教員が参加するという望外な成果を得た。自転車研では、毎月勉強会を重ねているほか、板橋キャンパスから荒川土手を30キロにわたって実走する「秋の実走研究」も行うなど、早速活動を活発化させている。また、2023年の年明けには「醸造文化と地域発展研究会」も生まれ、研究所の活気はさらに高まりを見せている。

新型コロナの影響はなお収束していないが、一方で、大学における授業、会議、研究活動は次第に平常化に向かいつつある。多くの人々にとっては、ため込んだエネルギーを外に向かって放出するタイミングに入りつつある。研究所では、10月にゲストスピーカーとして藤本由香里・明治大学教授を招いたシンポジウムも開催することができた。また、対外情報発信強化のため、社会学研究所のHPの改修と更新の増加、Facebookの公式ページの開設などを行い、研究所の認知度をあげる努力を始めた。2023年も、研究所のさらなる発展を期待していただければ幸いである。

2022年度 社会学研究所活動報告

運営委員会

- 2022年5月27日 第1回運営委員会 (zoom)
- 6月22日 第2回運営委員会 (メール会議)
- 7月19日 第3回運営委員会 (メール会議)
- 10月 5日 第4回運営委員会 (メール会議)
- 11月18日 第5回運営委員会 (メール会議)
- 12月 4日 第6回運営委員会 (メール会議)
- 2023年1月26日 第7回運営委員会 (対面・zoom)

研究会

2022年9月22日 13時15分～14時45分 (zoom)

ゲストスピーカー：河 旻珍氏 (國學院大學准教授)

テーマ：「パブリック・リレーションズの歴史社会学－〈企業自我〉の形成過程－」

シンポジウム

2022年11月3日 13時15分～15時30分 (対面・オンライン)

ゲストスピーカー：藤本由香里氏 (明治大学国際日本学部教授)

コメンテーター：井島由佳・大東文化大学社会学部助教

テーマ：「BL文化の海外への広がり」と LGBT」

研究部会

2022年 6月16日 第1回研究部会 (対面・zoom)

10月 2日 第2回研究部会 (対面・zoom)

2023年 2月14日 第3回研究部会 (対面・zoom)

刊行物

2023年3月 『社会学研究所紀要』(第4号)、『社会学研究所所報』(No.4) 発行

2022年（1月—12月）のマンガ・ビジュアル研究会 活動報告

<研究会 zoom ミーティング>

- ・2021年2月4日（金）14：00—15：00
 1. 今年度の活動と次年度の活動について
 2. 「マンガ・アニメ」講座について
 3. 地域連携センター講座（おとなのマンガ講座）について
 4. 社会学特殊講義申請について

<メールミーティング>

- ・2022年5月12日（木）
 1. 社会学特殊講義申請について
- ・2022年6月16日（木）
 1. 地域連携センター 2022秋期オープンカレッジについて

<その他>

- ・2022年度地域連携センター2022年秋期オープンカレッジ申請：「おとなのマンガ講座」
- ・「マンガ・アニメ」講座2022開催 板橋校舎 申込者15名
 1. 2021年6月11日（土）

スチュワート・ロナルド：『鬼滅の刃』の海外受容と翻訳による変化
周東美材：アニメソングからみる声・身体性の歴史社会学
 2. 2021年6月25日（土）

野嶋剛：『鬼滅の刃』とジャーナリズム～なぜ『呪術廻戦』は社会現象にならなかったのか～
井島由佳：BがLする心理学-GがLするより多いのはなぜ？
 3. 2021年7月9日（土）

近藤和都(大妻女子大学)：『宇宙戦艦ヤマト』から『鬼滅の刃』へのメディア史
土岐寛(大東文化大学名誉教授)：サブカルチャーと国際政治:ゴルゴ13に見る
- ・2023年度社会学特殊講義（マンガ・アニメ）開設申請

■マンガ・ビジュアル研究会メンバー（敬称略）

スチュワート・ロナルド・ジェフリー、野嶋 剛、周東美材、井島由佳

2022年（1月-12月）の自転車とツーリズム・まちづくり研究会 活動報告

- 2022年6月 6日 発足
- 6月23日 日本スポーツコミッション自転車活用分科会オンラインセミナーに参加
 - 6月16日 第一回ミーティング（研究会の方向性を議論）
 - 7月14日 第二回ミーティング（研究会の方向性を議論）
 - 9月11日 第三回ミーティング（科研費申請に向けた準備）
 - 10月13日 第四回ミーティング（秋の実走研究に向けた準備）
 - 11月 5日 坂本大蔵・しまなみジャパン専務理事を講師にしまなみサイクリングロードの現状について勉強会を開催
 - 11月 5日 第9回 自転車利用環境工場会議 in さいたま に参加
 - 11月 9日 第五回ミーティング（秋の実走研究に向けた準備）
 - 11月18日 秋の実走ライド（板橋キャンパス～荒川）を開催

■自転車とツーリズム・まちづくり研究会メンバー（敬称略）

鶴田佳史、塚本正文、飯塚裕介、阿部英之助、表 昭浩、八木原大、小湊浩二
小野田竜一、野嶋 剛

研究員の活動報告

阿部 英之助

【論文】

阿部英之助,「技術・職業教育」『日本の民主教育2021』大月書店,pp154-157,2022.

阿部英之助,「叡智の鏡を磨きつつ」『日本学園梅総会報』,Vol.95,pp3,2022.

【報告】

一盛真・阿部英之助・佐久間裕斗・未定整基,「大東文化大学社会教育主事講習」

全国社会教育職員養成研究連絡協議会・社会教育士取得支援プロジェクト,

2021年3月5日、会場東京学芸大学及オンライン報告

【講演】

和歌山教育連合「オンライン授業から見えてきた ICT 教育の課題と子どもたちの姿」

(5月27日) 和歌山県和歌山市・和歌山市民会館

【活動報告】

チャレンジ・オープンガバナンス！！2021 「「東北一広い鶴岡市の中核駅である鶴岡駅前に

にぎわいを取り戻す方法」(ポスター展示) 大東文化大学社会学部 阿部ゼミチーム

「第3回鶴岡市ビジネスプランコンテスト2021-2022」オープンガバナンス部門・最終選考

対象「つるおか玄関(じょのぐち)プロジェクト～通年で楽しめる駅前へ～」

(2022年2月19日・オンライン報告) 大東文化大学社会学部 阿部ゼミ

藤島歴史公園「Hisu 花」活用ワークショップ ファシリテーター (5月28日、7月29日・

10月27日・オンライン参加、9月15日のみ対面参加) (山形県鶴岡市)

【メディア掲載】

「地元の声を聞き・まちづくりを考察」(荘内日報 2022年9月7日)

「地域課題の改善・住民に聞き取り」(山形新聞 2022年9月11日)

井島 由佳

【学術論文】

井島由佳『マンガを用いた心理学的アプローチにおける教材開発の検討』,社会学研究所紀要

3巻,pp1-9,2022

【講演】

- 井島由佳『「気になる学生」への対応』,武蔵丘短期大学FD・SD研修,2022年3月7日実施
- 井島由佳『BがLする心理学-GがLするより多いのはなぜ?』,社会学研究所マンガ・ビジュアル研究会,マンガ・アニメ講座,2022年6月25日実施
- 井島由佳『マンガから学ぶ「強い自分」のつくり方レジリエンス(感情調整力・衝動調整力・共感力・楽観力・原因分析力・働きかけ力)を高める』,日鉄ソリューションズ株式会社NSSOLアカデミー,2022年9月14日実施

小野田 竜一

【学術論文(査読なし)】

- 小野田竜一「高齢者における主観的ウェルビーイングに関わる要因の関連性の検討～東京都板橋区の調査事例に関して～」『地域デザインフォーラム・ブックレット』,vol.28, pp.52-66, 2022.

【学会発表】

- 小野田竜一「社会的ジレンマにおける罰行動が引き起こす集団間の代理的な報復行動」日本人間行動進化学会第15回大会(北海道大学) 2022年12月10,11日.
- 小野田竜一「間接互惠状況における感情的な非合理的利他主義者の評判」日本社会心理学学会第63回大会(京都橘大学) 2022年9月14日.

表 昭浩

【学術論文】

- 表昭浩『英語教師の教授発話と自己効力感の関係に関する研究』博士論文,兵庫教育大学,全171頁
- 表昭浩・川上綾子「英語教師の教授発話行動と教師自己効力感の関係―教職経験年数の違いに焦点をあてて―」『日本教育工学会論文誌』46巻1号, pp.79-90.2022.
- 表昭浩・川上綾子「英語授業の教授言語：過去30年の日本語使用と英語使用の傾向」『英語学論説資料』第54号6巻, pp.249-254, 2022.

【発表論文集】

- 表昭浩「英語教師Aの2010年と2019年の2つの授業比較による教授発話と教師自己効力感の関係」『日本教師学会大会発表要旨集』23号, pp.54-55, 2022.
- Omote, A., "Instructional Speech and Teacher Self-efficacy: The Emergence of Instructional Satisfaction Through Vicarious Experiences from A's Two Classes in 2010 and 2020", Asia TEFL Conference 2022 at Indonesia Abstract Booklet, p. 315, 2022.

【学術発表】

表昭浩「英語教師 A の 2010 年と 2019 年の 2 つの授業比較による教授発話と教師自己効力感の関係」日本教師学会第 23 回大会（早稲田大学）2022 年 8 月 2 日
Omote, A. “Instructional Speech and Teacher Self-efficacy” 8th/Jul/2022

香川 めい

【日本語雑誌論文】

香川めい「高学歴化と若年期のキャリア形成」『大東文化大学紀要<社会科学>』, 第60号, pp.29-43, 2022.

多喜弘文・中村高康・香川めい・松岡亮二・相澤真一・有海拓巳・荻谷剛彦「コロナ禍のもとで学校が直面した課題——文部科学省委託調査の概要と小中学校調査の基礎分析」『理論と方法』, 36巻2号, pp.226-243, 2021.

【洋書・分担執筆】

Kagawa, Mei, Hirofumi Taki, Tomohiko Moriyama, and Fumiaki Ojima, “NEET in Japan: Focusing on Gender and Cohort,” Mark Levels, Christian Brzinsky-Fay, Craig Holmes, Janine Jongbloed and Hirofumi Taki eds., *The Dynamics of Marginalized Youth: Not in Education Employment, or Training Around the World*, Routledge, pp.156-179, 2022.

【学会発表】

香川めい「コロナ禍に学校はどう対応したのか——学校行事に注目して」日本教育社会学会第 74 回大会（日本女子大学（オンライン））2022 年 9 月 10 日.

周東 美材

【和書】

周東美材『「未熟さ」の系譜——宝塚からジャニーズまで』新潮社, 2022.
難波功士・野上元・周東美材編『吉見俊哉論』人文書院.

【日本語論文】

周東美材「職業音楽家としての「うたのおねえさん」——眞理ヨシコに聞くテレビ番組「うたのえほん」のころ」『東京音楽大学研究紀要』, 第46集, pp.71-87, 2022.

【その他の活動①】

周東美材「「お茶の間の人気者」はどう作られたか——「ジャニーズ」「AKB」の源流は「宝塚」にあり」『週刊新潮』, 2022 年 6 月 16 日号.

- 周東美材「「お茶の間の人気者」はどう作られたか——アイドル「成長物語」の原点「スター誕生!」と「山口百恵」『週刊新潮』, 2022年6月23日号.
- 周東美材「“お茶の間”が育ててきた「未熟なスター」…気鋭の社会学者が語る日韓エンターテインメントの分岐点」『エンタメNEXT』徳間書店, 2022年8月4日
- 周東美材・松尾潔「なぜ日本では“大人の芸”が育たないのか」, 本屋 B&B, 2022年9月16日.
- 周東美材「ゲスト：周東美材『未熟さ』系譜 宝塚からジャニーズまで」, 猫町倶楽部, 2022年11月13日.
- 周東美材・でか美ちゃん・原カントくん・工藤遥「アイドル文化を「未熟さ」から研究」, 「BOOKSTAND.TV」, BS12, 2022年11月15日.
- 周東美材「阪急電鉄が生んだ「宝塚歌劇団」誕生の背景にはファミリー層の郊外誘致策があった」『Merkmal』 2022年12月18日.
- 周東美材「未熟さ」の系譜か WE リーグを考える——「なぜ私たちは“未完成なスター”を求めてきたのか?」『WE Love 女子サッカーマガジン』 2022年12月23日.

【その他の活動②】

公益社団法人日本文藝家協会, 理事推薦入会, 2022年10月.

スチュワート・ロナルド

【洋書（英語）】

Suzuki, C.J. & Stewart, R., *Manga: a Critical Guide*. Bloomsbury Academic, 2022.

【発表】

(招待シンポジウム発表)

Stewart, R. “Transcultural Flows and Kitazawa Rakuten’s Early Inspirations.” *Global Comics and the Rise of Modern Manga. (JJOCA)*, Ohio State University (OSU) Virtual Symposium, USA. March 30, 2022.

(オンライン講演)

Stewart, R. “History of Manga Art in Japan.” *Continental Catch Lecture Series*. Department of International Studies, Political Science and History, Christ Deemed to be University, Bangalore, India. July 29, 2022.

塚本 正文

【論文】

塚本正文「沖縄県の観光目的税案の評価と課題」『環境創造』, 第28号, pp.63-77, 2022.

塚本正文「感染症流行下における入域課税の状況：座間味村の美ら島税、渡嘉敷村の環境協力税を事例として」『社会学研究所紀要』第3号, pp.11-26, 2022.

塚本正文「支出税の実施と住宅への課税の取り扱い」『大東文化大学紀要』,第60号,pp.65-76,
2022.

【和書】

柳下正和・于洋・青柳龍司・八木原大・大澤美和・塚本正文『はじめての財政学第2版』文眞堂,2022.

鶴田 佳史

【講演等】

令和3年度環境カウンセラー研修「カーボンプライシング導入の国際的動向」オンライン配信, 20220116.

【ネット記事】

東京商工会議所, 2022, 【インタビュー】SDGsで「持続不可能」から「持続可能」な世界へ(前編), tosho antenna, 20220427.

東京商工会議所, 2022, 【インタビュー】SDGsで「持続不可能」から「持続可能」な世界へ(後編), tosho antenna, 20220628

豊泉 周治

【論文】

豊泉周治「学校経験の分断を超えて」『教育』(教育科学研究会) No.918, pp.13-20,2022.

【学会発表】

豊泉周治

「デューイにおける経験とコンサマトリーの概念——拙著『幸福のための社会学』第2章から」東京唯物論研究会 6月定例研究会(法政大学市ヶ谷キャンパス), 2022.6.4

豊泉周治「生産学校から予備的礎教育の創設へ」, 東京唯物論研究協会 第45回研究大会(東京都立大学), 2022.11.12

中野 紀和

【論文】

中野紀和「コロナ禍での祭り・イベント素描—2022年の小倉祇園太鼓とおながわみなど祭り—」
現在学研究会,『現在学研究』第10号,pp.1-13,2022.

【口頭発表】

Kiwa Nakano, (Discussant), Comments to “Japanese Social Movements in Difficult Times,” Association for Asian Studies(AAS), March 26, 2022, AAS 2022 Annual conference (online).

【和書（単著）】

野嶋剛『新中国論 台湾・香港と習近平体制』（ちくま新書）,2022

【論文】

野嶋剛「岸田吟香『東京日日新聞』台湾出兵記事の発表形式とその内容—日本初の従軍記者は近代日本初の対外出兵で何を記録したか—」大東文化大学社会学研究所紀要.3号.2022

野嶋剛「朝日新聞の日中戦争取材～「報道報国」と「報道挺身」の末に～」『新聞が伝えた通州事件 1937-1945』集広舎,2022

野嶋剛「台湾で他者となる中国」『アステイオン』97号,2022

【講演・発表】

大阪大学「台湾研究講座」オンラインセミナー発表「台湾・香港における植民地の記憶と「本土」「本地」意識の形成」3月5日

春の台湾文化祭講演「世界最大の自転車メーカー・ジャイアントが日本各地へ広げるサイクルツーリズムの理念と戦略」4月22日

台湾・国立故宮博物院特別講演会「探討後疫情後的觀光新思維：吸引日本遊客的新思維」8月24日

東呉大学日本語学科講演「ポスト安倍時代の日台関係」9月3日

高雄市立圖書館總館講演《看見不一樣的台日關係—安倍逝世與裴洛西訪問大解密》9月4日

時局心話会「アジア安保会議」講演『「近づく「台湾有事」を台湾社会の文脈で読み解く～安倍氏死去・ペロシ氏訪台・中国軍事演習の衝撃と影響』10月28日

第9回自転車利用環境工場会議 in さいたま 分科会発表「台湾における公共シェアサイクル『YouBike』利用拡大の最新状況について」11月5日

九州大学台湾スタディーズシンポジウム 台湾事情「台湾海峡兩岸関係の起源」発表「中国共産党と台湾—誰のための国家統一か」12月11日

自転車活用推進研究会講演「最新台湾シェアサイクル事情」12月9日

飯塚 裕介

【学会発表】

飯塚裕介「浸水想定区域内の住民の防災意識に関するアンケート調査 その2 浸水想定区域外の住民との比較」日本建築学会大会（北海道科学大学）2022年9月7日.

【講演】

飯塚裕介「新河岸地域の水害リスクを知る」主催：国土交通省ほか、会場：板橋区新河岸一丁目集会所、2022年12月15日.

飯塚裕介「マイタイムライン作成のすすめ」主催：国土交通省ほか、会場：板橋区新河岸一丁目集会所、2022年12月15日。

飯塚裕介「拡張現実（AR）による洪水模擬体験」主催：国土交通省ほか、会場：板橋区徳丸ヶ原公園内集会所、2023年1月18日。

【コラム】

飯塚裕介「飯塚裕介の時空間分析コラム：高島平地域の高齢者はどうやって災害情報を得るか」『高島平学：高島平を思考する地の知』、第8号、pp.34-35、2022年12月。

【社会活動】

アーバンデザインセンター高島平(UDCTak) ディレクター
板橋区老朽建築物等対策協議会 委員
板橋区公募対象公園施設設置等予定者選定委員会 委員
日本建築学会空間研究小委員会空間研究調査分析方法 WG 委員
日本建築学会防災教育 WG 委員
高島平学編集委員会 委員

山口みどり

【論文】

山口みどり「アラクニーの娘たち——『マンスリー・パケット』誌の参政権論争にみる参政権意識の「大衆化」」『史潮』、新91号、pp.45-65、2022。

【書評】

山口みどり「書評 トロイ・ビッカム 著、大間知知子 訳『イギリスが変えた世界の食卓』原書房2022年」『図書新聞』3571号、2022年12月17日、4面

【新聞記事コメント】

山口みどり「新旧の価値観、体現していた（女王の献身広く慕われ）」『日本経済新聞』35面、2022年9月10日朝刊。

【解説動画】

山口みどり「サフラジェットたちが変えたもの——映画『未来を花束にして』（原題サフラジェット）に寄せて（解説動画）」『未来を花束にして—SUFFRAGETTE—フィルムフェスタ』練馬フォーラム2022男女共同参画の集い（練馬文化センター）、11月19日

【Web 体験授業】

山口みどり「Web 体験授業 ヴィクトリア時代の家族—ケーススタディからフェミニズムの背景を探ろう」大東文化大学、2022年5月10日公開

山口みどり「趣旨説明・司会」イギリス女性史研究会 第38回研究会シンポジウム「『女教師たちの世界一周——小公女セーラからブラック・フェミニズムまで』（2021.2）と『女性史』までの寄り道・回り道・迷い道」、青山学院大学、2022年12月10日。

【その他】

山口みどり「古典を読み継ぐ—研究指導のなかの『家族の命運』— 『女性とジェンダーの歴史』, 第9号, pp21-24,2022.

研究員紹介

所 長	野嶋 剛
部 会 長	鶴田佳史
専任研究員	阿部英之助 井島由佳 植野一芳 小野田竜一 表 昭浩 香川めい 川野幸男 上地宏一 小湊浩二 周東美材 塚本正文 スチュワート・ロナルド・ジェフリー 鶴田佳史 豊泉周治 中野紀和 野嶋 剛 飯塚裕介 八木原大 山口みどり
兼任研究員	近藤 和都
兼任研究員	土岐 寛

大東文化大学社会学研究所所報 No. 4

2023年3月31日発行

編集発行・印刷 ©大東文化大学社会学研究所

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

Tel: (03)5399-7394